山梨県厚生連健康管理センター 健診コース・オプション検査項目ガイド

基本健診内容＆オプション検査一覧

基本健診

生活習慣病予防健診 (協会けんぽ 35歳以上・20,25,30歳)

身体測定（身長・体重・BMI・腹囲）、血圧測定、視力・聴力、問診・診察、尿検査（蛋白・糖・潜血）、血液一般（白血球・赤血球・Hb・Ht）、肝機能（AST・ALT・γ-GTP・ALP）、脂質（中性脂肪・HDL・LDL）、糖代謝（血糖・HbA1c）、腎機能（クレアチニン・eGFR・尿酸）、心電図、胸部X線検査
胃部X線・大腸がん検査：35歳以上は選択可能、20,25,30歳は補助対象外

一般健診 (協会けんぽ 35歳未満 / その他保険)

身体測定、血圧、視力・聴力、問診・診察、尿検査、血液一般、肝機能、脂質、糖代謝、腎機能、心電図、胸部X線。幅広くお体の基本状態を網羅してチェックいたします。

特定健康診査 (40〜74歳 被扶養者・メタボ健診)

身体測定（身長・体重・BMI・腹囲）、血圧測定、問診・診察、尿検査（蛋白・糖）、肝機能（AST・ALT・γ-GTP）、脂質（中性脂肪・HDL・LDL）、糖代謝（血糖・HbA1c）。

血液検査系オプション

心臓疲労度チェック（NT-proBNP検査）

心臓に負担が加わった際に分泌される物質を測定。心電図では発見できない軽症の心不全や狭心症の早期発見・予防に非常に効果的です。

血清インスリン検査（糖尿病リスク）

膵臓から分泌される血糖降下ホルモン（インスリン）の働きを調べます。普通の血糖検査だけでは見抜けなかった隠れ糖尿病やメタボ、動脈硬化リスクを早期把握できます。

ABC検診（胃がんリスク判定）

ピロリ菌感染の有無と、胃粘膜の萎縮度（ペプシノゲン）を組み合わせ胃がんの発生リスクをA〜D群に分類。特に若年層や今まで調べたことがない方におすすめです。

⚠ ヘリコバクター・ピロリ抗体検査に関する注意事項

以下に該当する方は受診いただけません

- ① ピロリ菌除菌薬の内服治療歴のある方
- ② 過去の抗体検査で陰性と判定された方
- ③ 過去に抗体陰性高値（±3.0〜9.9）であった方

腫瘍マーカー検査

項目	主な目的・対象疾患
CEA	胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、膵がんなどの総合マーカー
CA19-9	膵臓がん・胆道がんなどのマーカー
PSA (男性)	前立腺がんのマーカー（前立腺肥大でも上昇する場合あり）
CA125 (女性)	卵巣がんなどのマーカー
TSH	甲状腺機能検査（自律神経やエネルギー代謝の調整機能を調べる）

風しん抗体検査

血液検査によって風しんウイルスに対する十分な免疫があるかを確認します。

アレルギー検査（全19項目セット）

日本人の約2人に1人がアレルギー疾患を持つと言われています。一度の採血で主要原因物質（特異的IgE）をチェックできます。

食品 (9種)

- 卵白 / 牛乳 / 小麦
- そば / ピーナッツ
- エビ / カニ
- クルミ / カシューナッツ

ダニ・カビ (5種)

- ハウスダスト
- コナヒョウダニ / ヤケヒョウダニ
- カビ類（アルテルナリア等）
- 動物上皮（ネコ・イヌ・マウス）

花粉・雑草 (5種)

- スギ / ヒノキ / ハンノキ
- イネ科（カモガヤ等）
- 雑草類（ブタクサ・ヨモギ等）

その他オプション検査

肺がんCT検査（低線量マルチスライス）

肺がんは現在我が国の死亡数第1位となっています。肺がんの原因の多くは「喫煙」ですが、約3割は非喫煙者といわれています。 肺がんCT検査では、胸部X線検査で発見が難しいような小さな早期肺がんを見つけることができます。

低線量のマルチスライスCT

当センターでは低線量の16列マルチスライスCTを使用しています。 被ばくを最小限に抑えながら、4秒ほどの息止めで肺全体を撮影することができます。

腹部超音波検査（上腹部）

超音波を使って肝臓・胆のう・脾臓・腎臓・膵臓などを調べます。がん・結石・腫瘍・のう胞などの発見にも役立ちます。

乳腺超音波検査（エコー）

乳房内の小さなしこり（腫瘍）の発見に適した検査です。 エラストグラフィ機能を搭載した検査機器を使用するため、しこりの大きさや硬さ、状態なども観察することができます。 また、脇の下など周囲のリンパ節も調べます。 乳腺が発達している若い世代の方や、マンモグラフィで高濃度乳房と判定されている方でもしこりが見つけやすいことに加え、 ペースメーカーを装着されている方や豊胸術後の方、妊娠中や授乳中の方でも受けられます。

山梨県厚生連健康管理センター 〒400-0035 山梨県甲府市飯田1-1-26

お問い合わせダイヤル：**0120-28-5593**（受付時間 平日8:30〜17:00）